

# いきものみつけ



いきものみつけファーム滋賀

URL: <http://ikimonomikke-shiga.com/>

News.  
Vol.18

発行：いきものみつけファーム滋賀推進協議会  
電話：090-7966-2262 FAX：0748-68-0598

編集：事務局 竜王 住所：甲賀市土山町黒川  
E-mail: ryuoh-mtm@maia.eonet.ne.jp 平成27年11月25日

## 活動を壁新聞に まとめました。

今年五月から月一回ペースで行ってきた環境学習「いきものみつけ寺子屋」もそろそろまとめの時期です。十一月十五日は朝から上級生の子どもたちが一日かかりで、二枚の模造紙に成果をまとめてくれました。小さな子は生き物の折り紙を作ってくれたり、絵を描いてくれました。

「何がいたっけな?」「アカハライモリやカワムツは毎月いたな」と半年間を通じて、多くの生



制作の様子

生き物を見

つけたこと、触れたこと、アメリカザリガニ等の外来いきものはいなかったことを確認しました。みんなのおなじみの水田には、どこにどんな生きものが見つけられるかもちゃんと覚えているみんな。当たり前ですが、生き物学芸員によると、滋賀県下でも、あれほどの動植物の生息は貴重なようです。

山や川から来ている水を農業などを使わずに稲作されている農家の方々のおかげであると感謝したいですね。

農家の方々は、案外知らなかったりしますので子どもたちが伝えておげないといけないかも。午前中の作業で、六割ほどの完成した壁新聞、お昼はお母さん方に豚汁を作っていたいただき、大学芋もいただきました。

この日は、ひよんなもらいもの「青森産 青天の霹靂(へきれき)」という評判「特A米」のお米で炊いたご飯も頂きました。さすが、東京でも売れ筋だけあってさすが、美味しかったです。

外の空気を吸いにいつもの田んぼに行ったら、やはりいました。アカハライモリ……でも、秋から冬に変わっていくた

んぼはさびしそうな気がしました。田んぼの土もお疲れ様ですね。  
午後から、再開。昼食作りをしてくれたお母さんたちも参加してくれ、十四時半すぎに完成しました。そして、先月取れたお芋で美味しく簡単な大学芋をお母さんたちが付けてくださったので、また頂きました。つついパクパク食べてしまう「この別腹が親子ともに怖い……」。



来年1月に奈良で行われる「近畿子ども水辺交流会」で持っていき発表します。



# おすすめ絵本

人類の幸福とは何か？



深く問いかける絵本です。

# いきものみっけ野菜を文化祭で出店



十一月二十二日にいつも活動している山内でありましたやまびこ文化祭にいきものみっけ観察会でお世話になっている松岡さんといきものみっけファーム推進協議会の岡田和男さんたちが、野菜を出店されました。  
当推進協議会では、野洲川の源流域で清らかな水と有機農法による安全・安心な土作りをめざして農作物を作っておられる農家の方たちに支えられています。  
今年はやまびこ文化祭にも多くのお客様が来られて、たくさんの野菜が売れたようです。

# 世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ

出典「世界でもっとも貧しい大統領の衝撃的なスピーチ」

**貧乏なひととは、少ししかものを持っていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことだ**

私たちは発展するために生まれてきているわけではありません。幸せになるためにこの地球にやってきたのです。人生は短いし、すぐ目の前を過ぎてしまいます。命よりも高価なものは存在しません。

社会が発展することが幸福を失うものであってはなりません。

- 人と人が幸せな関係を結ぶこと
- 子どもを育てること
- 友人を持つこと
- 地球上に愛があること

こうしたものは、人間が生きるためにギリギリ必要な土台です。発展は、これらを作ることの味方ではなくてはなりません。

1992年にブラジルのリオデジャネイロで「環境と開発に関する国連会議」(地球サミット)が開催されてから20年が経過し、2013年には再度、リオで国際会議が開かれました。そこで南米ウルグアイのムヒカ大統領の言葉と大統領の暮らしが日本でも話題になっています。

- どうして「世界一貧しい大統領」なのか？理由はムヒカ大統領の暮らしぶりです。
- 給料百万円のうちの9割を貧しい人たちのために寄付し、自分は妻と愛犬とで10万円で暮らしている
- 住まいは大統領邸に入らず簡素な農場
- 車は友人からのもらいもの十八万円相当であるが、高額で売ってほしいと言われることも売らない
- 畑仕事と養鶏が日課
- トラクターを自ら動かす

# 食と農のフォーラム 松井三郎さん講演会

飾らない性格と笑顔、そして言うだけでなく自ら実行する彼を人々が大統領を「ペペ」と呼び親しんだそうです。  
再任がないリオでは惜しまれながら、勇退されたようです。  
大統領のスピーチが、ひとびとの心に広がっています。

新春早々に当推進協議会では研修会を開催します。

安心安全な食をめざした有機農法での取り組みの検証も聞きながら、私たちの食と環境を考える機会になります。ぜひご参加ください。

日時：平成二十八年一月九日(土)

十四時～十六時

場所：JAグリーン日野東支店

(日野町 中央公民館前)

内容：松井三郎さん講演会

「安心安全な食を作るための農業と環境」

松井三郎さんと金井萬造さんの対談  
食のお楽しみ